

 タイ
Thailand

タイビジネス商談会
@MEDTEC Japan 2017

参加費無料

4月20日(木) 東京ビッグサイト
10:00~17:00 MEDTEC Japan2017会場内

タイビジネス商談会@MEDTEC Japan 2017 開催レポート



中小機構は、2017年4月20日、BOI-BUILD(タイ投資委員会・産業連携促進ユニット)、タイ王国大使館工業部と連携して、日本の中小企業との業務提携や技術・製品の取扱いを希望するタイ企業経営者との商談、交流プログラムを「MEDTEC Japan 2017」の会場にて開催しました。3回目を迎える今回の商談会では、タイの医療機器メーカー、医療分野に参入している自動車部品・電気電子部品等8社の経営幹部が来日。日本企業31社と71件の商談が行なわれました。

また今回は BOI との連携により、タイ国内にて産学連携プログラムを推進するチュラーロンコーン大学工学部が初来日。バイオテクノロジーを中心とした研究成果を日本企業との提携に活用すべく商談会に参加しました。

BOI-BUILD の出展によるブースではテーブル席が設けられ、タイにおけるビジネス展開について相談を希望する日本企業が多く訪れました。商談会後は BOI 主催による交流会を開催。和やかな雰囲気の中、両国の企業が積極的に情報交換をする姿がみられました。



タイビジネス商談会を共催して

継続が、より豊かな成果を生み出します



タイ投資委員会(BOI)
産業連携促進ユニット(BUILD)
ダイレクター
ウイラット・タッサリングカンサクンさん

医療機器展示会「MEDTEC Japan」を会場とするタイビジネス商談会も、おかげさまで 3 回目を迎えることができました。ご参加いただいた企業のみなさまと、さまざまなかたちでご協力くださった中小機構に心よりお礼を申し上げます。

私どもタイ投資委員会・産業連携促進ユニット(BOI-BUILD)では、1992 年の設立以来、タイ企業と日本企業の連携を深める活動を行ってまいりました。

ビジネスは、人と人の信頼関係があって発展するものだと私は考えます。この商談会でも、最初の 1 回目は具体的な成果を感じられなかった企業もあるかもしれませんが。しかしながら、2 回、3 回と顔をあわせて商談を重ねることで、互いの国や相手企業のビジネスに対する理解も深まり、思わぬ接点を見出した企業も多く、そこで得た成果が、両国企業間で大きく実りは始めていることを実感しています。

また今回は、タイを代表する国立大学・チュラーロンコーン大学工学部が特別に参加しました。タイでは現在、産学連携プログラムを推進しており、研究開発部門を持たない企業のニーズと大学のリソースをマッチングする共同研究が多く行なわれています。チュラーロンコーン大学と日本企業の情報交換によって、新たなビジネスチャンスが生まれることを期待しています。

世界経済のグローバル化がますます進む現在、タイと日本、両国企業のそれぞれの強みを認識し連携していくことで、より力強い経済発展を生むことができると確信しています。今後もこの商談会を継続し、両国のビジネスの関係をより豊かなものにしていきたいと考えています。

参加企業の声

—— CEO と直接話せることが最大の魅力です ——



株式会社東鋼

代表取締役社長 寺島誠人さん
(左)

社長室経営企画室長 寺島美由紀
さん(右)

弊社は、マシニングセンターや工作機械の先端に取り付ける特殊精密切削工具をオーダーメイドで製造し、さまざまな業界のニーズにお応えしています。

中小機構の CEO 商談会に参加したのは、前回の「ASEAN 医療機器 CEO 商談会」が初めてでした。かねてより独自にコンタクトを取っていたアセアンのある企業があったのですが、やりとりがスムーズに進まず困っていました。そんなときに「ASEAN 医療機器 CEO 商談会」にその企業が参加すると知って申し込んだのです。商談会でお会いしたら CEO が別の方になっていて、連絡が滞っていた理由がわかりました。その場であらためて相手企業の工場見学のアポイントをいただき、先日、訪問してきたところです。今回は CEO と直接お話しできたので、サプライヤー待遇で工場を案内していただき、具体的に案件を進めることができました。

この CEO 商談会の最大の魅力は、海外企業の CEO と直接、商談ができることだと思います。とくに海外との接点の少ない中小企業にとってはとても有益な機会です。また、海外企業の業務内容や日本企業に求めていることが明確にわかり、商談のビジョンを描きやすかったのもよかったです。海外企業のリサーチをするのはとても時間がかかるので助かりました。通訳がすべての商談に同席してくれるのも、弊社のように説明しないと製品の特性が伝わりにくい企業にとってはほんとうにありがたいことです。

これまでたくさん商談会に参加しましたが、ここまで目的が明確で細やかにフォローしてくださる商談会はありません。参加すると得られるものがきっとあると思います。

—— 目的が明確なので、商談もスムーズです ——



川島金属株式会社
営業部 課長 柘植一成さん
(右)
営業部 メタクラチャット・ドアンル
ディーさん(左)

弊社は、プラスチック金型用の精密特注モールドベースの製造・販売、グループ企業で製造したプラスチック金型の販売などを手がけています。自動車、光学、食品、文房具、医療関連など幅広い業界の部品の金型を製造しています。

今回の商談会には、情報収集も兼ねて参加させていただきました。商談でお話したところ、今後、次のステップに移れそうな企業が何社もあり、可能性を感じています。また、商談した企業から現地の加工メーカーを数社ご紹介いただいたので、さっそくコンタクトをとってみたいと考えています。

ほかの商談会とくらべて、ここでは CEO とお話しできるので話が早いですね。また、どの企業も商談の目的がはっきりしていたので、こちらからも的確に提案することができました。弊社の要望も聞いてくださって、互いのニーズにあったお話しができたのもありがたかったですね。タイの医療マーケットに関してリサーチ中でしたので、今回の商談会で現地とのコンタクトを得ることができてとてもよかったです。

—— 新たなビジネスの可能性に期待しています ——



チュラーロンコーン大学 工学部
産学連携推進プログラム 部長
スポット・ティアラウトさん(右)
化学工学科 医工学プログラム
助教授
ソーラダ・カノクパーノンさん(左)

チュラーロンコーン大学はタイを代表する国立大学のひとつです。工学部ではタイ国立科学技術開発庁(NSTDA)との連携をはじめ、国内外の大学・研究機関との協働プログラムを推進しています。

この度は、BOI を通じてこの商談会への参加が実現しました。私たちは、日本の医療産業の状況をリサーチし、実際に企業のニーズを知ることで、日本企業との技術連携を進めたいと考えています。BOI は日本企業のタイへの投資・進出を積極的にサポートしていますので、今後、タイに進出する日本企業と R&D 部門において協力関係を構築することで、双方にとってより豊かなベネフィットが得られるものと確信しています。

今回の商談会では、バイオメディカル関連の研究成果として、タイシルクから抽出したプロテインをさまざまに応用する技術をご紹介したところ、ある日本企業が日本のシルクとの成分や効果の違いに注目し、新たな応用の可能性について話し合うことができました。

これまでタイと日本のビジネスにおいては、輸出あるいは進出というモデルが中心でしたが、我々のような研究機関が日本企業と協働することで、従来のステージを超えた新たなビジネスの可能性が広がることを願っています。

開催概要

主催:BOI-BUILD(タイ投資委員会・産業連携促進ユニット)/タイ王国工業省 /
独立行政法人中小企業基盤整備機構

開催日・会場:2017年4月20日 東京ビッグサイト MEDTEC Japan2017 会場内



商談会後に開催された BOI 主催の交流会の様子